

平成30年度 第2回佐賀県交通渋滞対策協議会

議事概要

1. 日時 平成31年3月13日（水） 13:30～15:00

2. 場所 佐賀国道事務所 4F 会議室

3. 議事

- (1) これまでの検討経緯について
- (2) 交通状況のモニタリングについて
- (3) 主要渋滞箇所の解除フローの見直しについて
- (4) 次年度以降の渋滞対策の方向性について
- (5) 今後について
- (6) 佐賀都市圏エリアワーキングについて

4. 議事要旨

- 主要渋滞箇所の解除フローの見直し方針について、了承を得た。
- 国道34号武雄バイパスや国道34号東分交差点のピンポイント対策等について効果を確認した。
- 佐賀県渋滞対策協議会として、今後も継続的に渋滞状況をモニタリングし、対策を立案・実施することを確認した。

以上

平成30年度 第2回 佐賀県交通渋滞対策協議会

目次

0. 本日の報告事項・議事内容	1
1. これまでの検討経緯	2
2. 交通状況のモニタリング	6
3. 主要渋滞箇所の解除フローの見直し	16
4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について	18
5. 今後について	24

0. 本日の報告事項・議事内容

1. これまでの検討経緯について

2. 交通状況のモニタリング

- (1)最新データによるモニタリング結果の報告
- (2)現時点での選定基準非該当箇所の確認
- (3)平成30年対策実施箇所の対策効果の確認
- (4)選定基準非該当箇所の確認(未対策箇所)
- (5)対策済み箇所の交通状況の確認
- (6)解除済み箇所のモニタリング

3. 主要渋滞箇所の解除フローの見直し

- (1)解除フローの見直し案
- (2)主要渋滞箇所の解除方法案

4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について

- (1)佐賀県内の主要渋滞箇所の対策実施状況
- (2)主要渋滞箇所のマネジメントサイクル
- (3)官民連携による渋滞対策
- (4)都市部での時差出勤促進の取り組み

5. 今後について

本日のポイント

ポイント1

最新データによるモニタリング結果を確認

ポイント2

現段階での解除候補箇所の確認

ポイント3

対策後の交通状況を確認

ポイント4

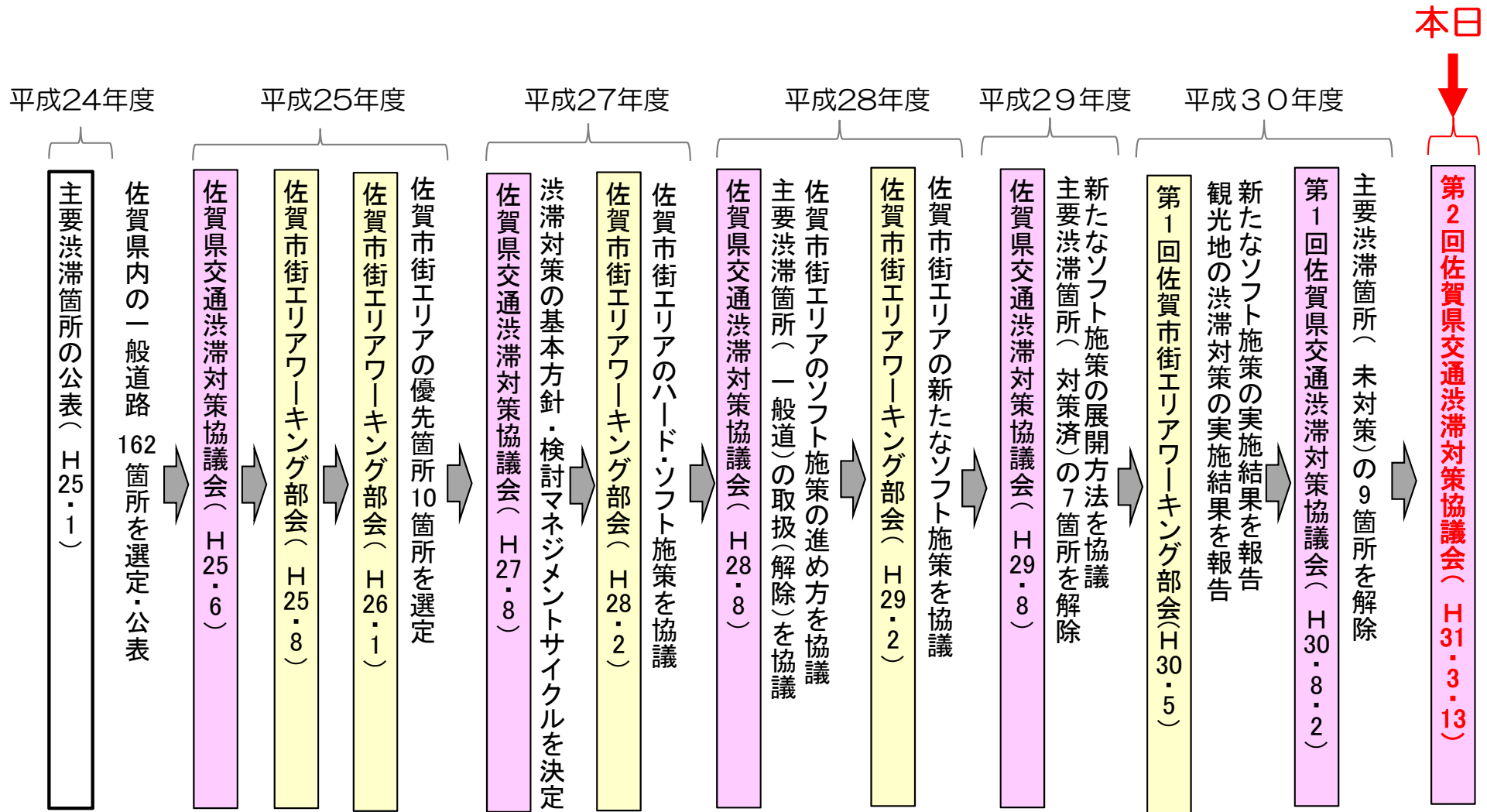
解除フローの見直しについて議論

ポイント5

今後の対策の展開について協議

1. これまでの検討経緯

(1) これまでの経緯

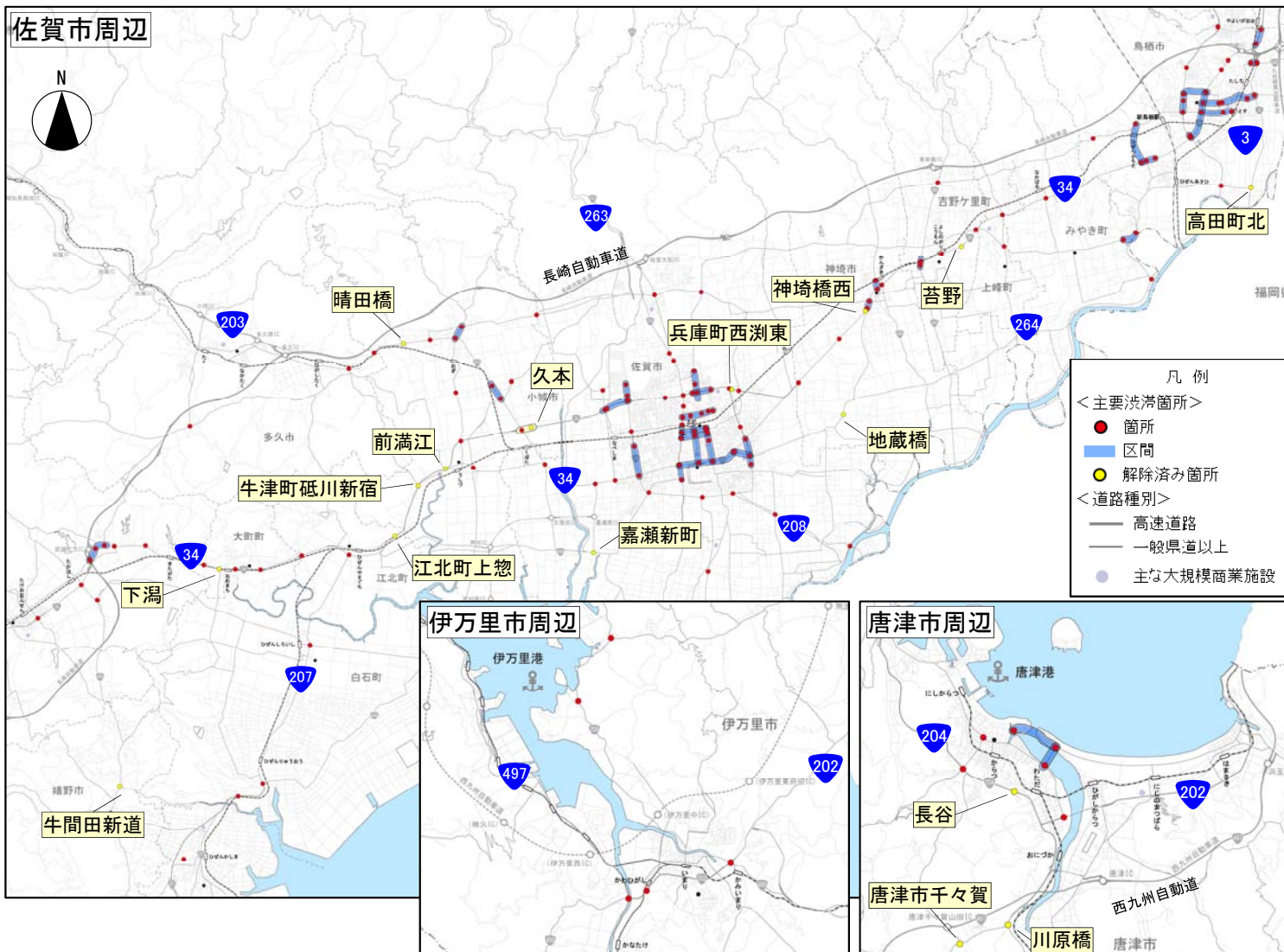


1. これまでの検討経緯

(2) 佐賀県内の主要渋滞箇所(一般道)の解除状況

- 佐賀県内の主要渋滞箇所は、平成25年1月に162箇所を選定・公表され、バイパス整備及び、交差点改良により平均速度が20km/h以上になったため平成30年8月までに**16箇所を解除**
- 依然として、佐賀市街地・鳥栖市を中心に**佐賀県内には146箇所の主要渋滞箇所が残存**

主要渋滞箇所の状況

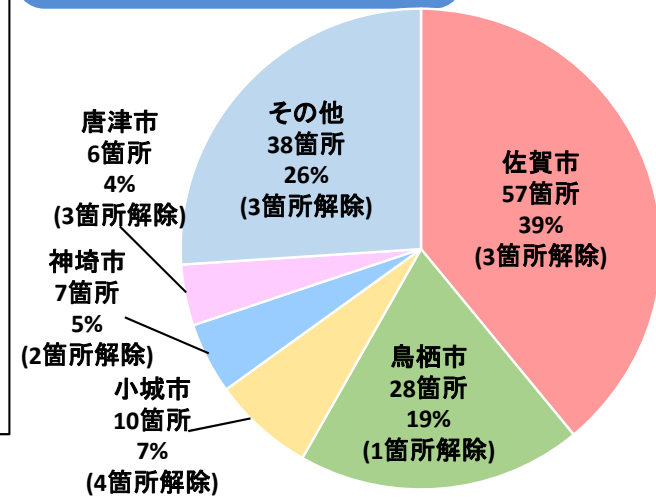


現在の佐賀県内主要渋滞箇所(一般道)

時期	主要渋滞箇所	内訳	
		集約区間数	箇所数
選定時 (H25.1)	162箇所	35区間 (77箇所)	85箇所
H29年渋滞協後 (H29.8)	155箇所	35区間 (77箇所)	78箇所
H30年渋滞協後 (H30.8)	146箇所	34区間 (75箇所)	71箇所
解除済み箇所	16箇所	1区間 (1箇所)	15箇所

箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成
 区間: 交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

主要渋滞箇所の市町別内訳



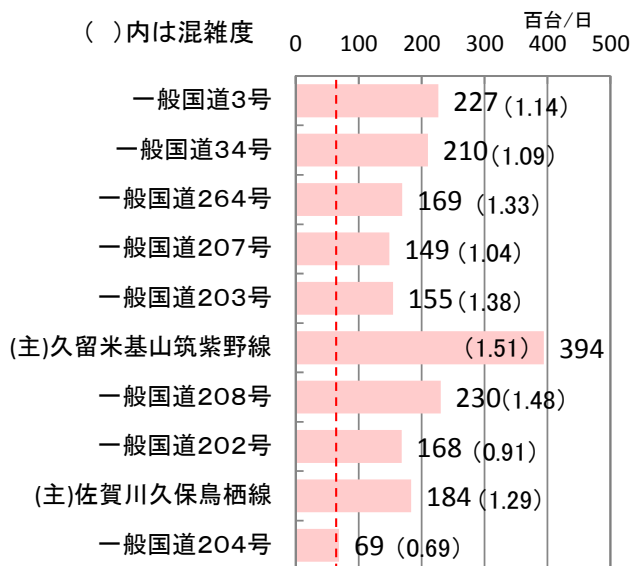
1. これまでの検討経緯

平成27年度佐賀県交通渋滞対策協議会で決定

(3)佐賀県における渋滞対策の基本方針

課題	佐賀市街地を中心に、物流・交通拠点が集積する鳥栖市、伊万里市、唐津市や福岡都市圏との都市間交通が多い。これらを結ぶ主要幹線道路では、交通容量不足が生じており、佐賀市には県内主要渋滞箇所の約4割が集中している。
基本方針	地域高規格道整備や現道拡幅による交通容量の拡大を図るとともに、交差点改良など局所的な対策やソフト施策による渋滞軽減への取組みを検証していく。

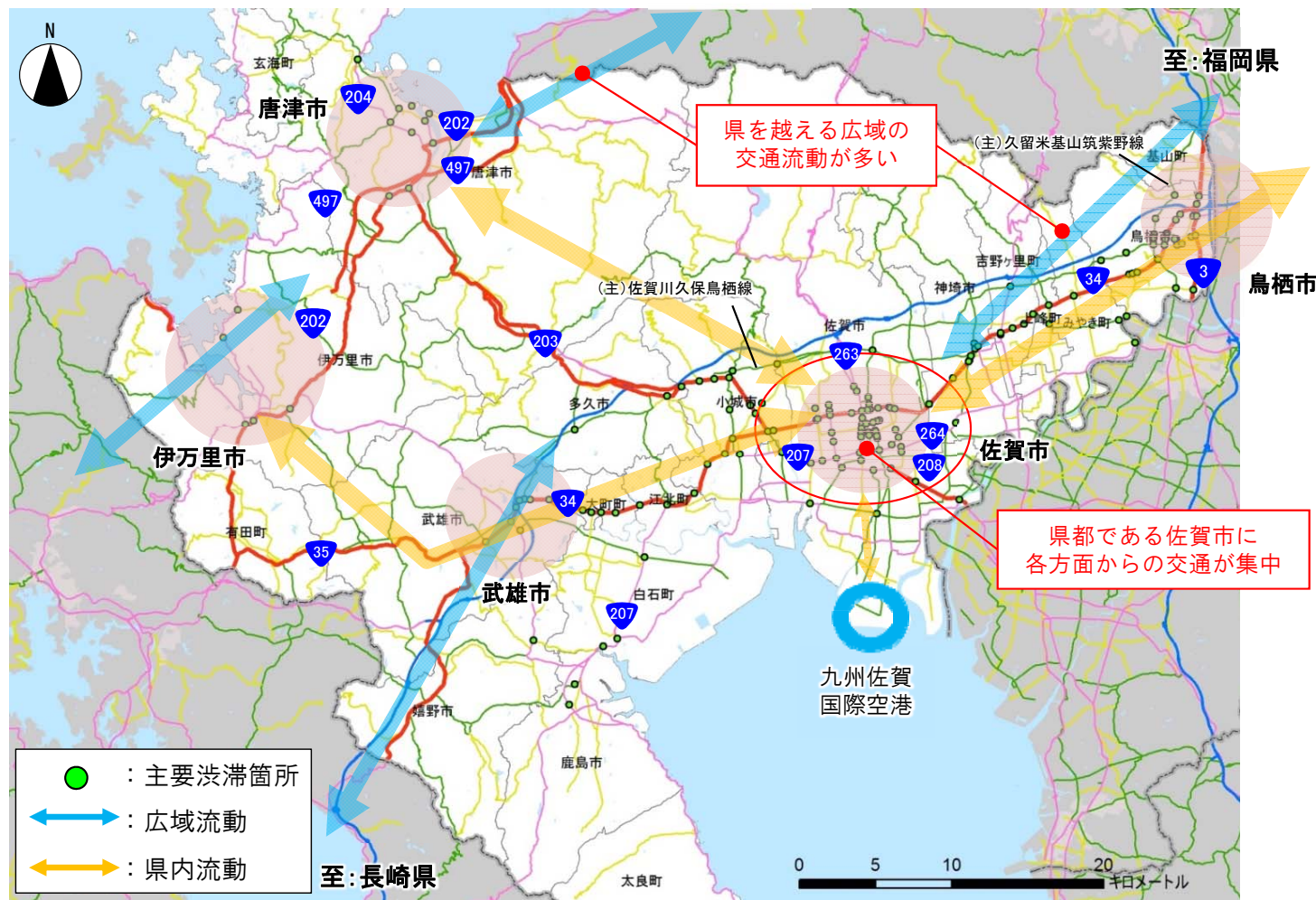
路線別の交通量と混雑度



県平均75百台/日(0.77)

※高速道路、地域高規格道路を除く
資料：H22道路交通センサス

佐賀県全体の交通流動

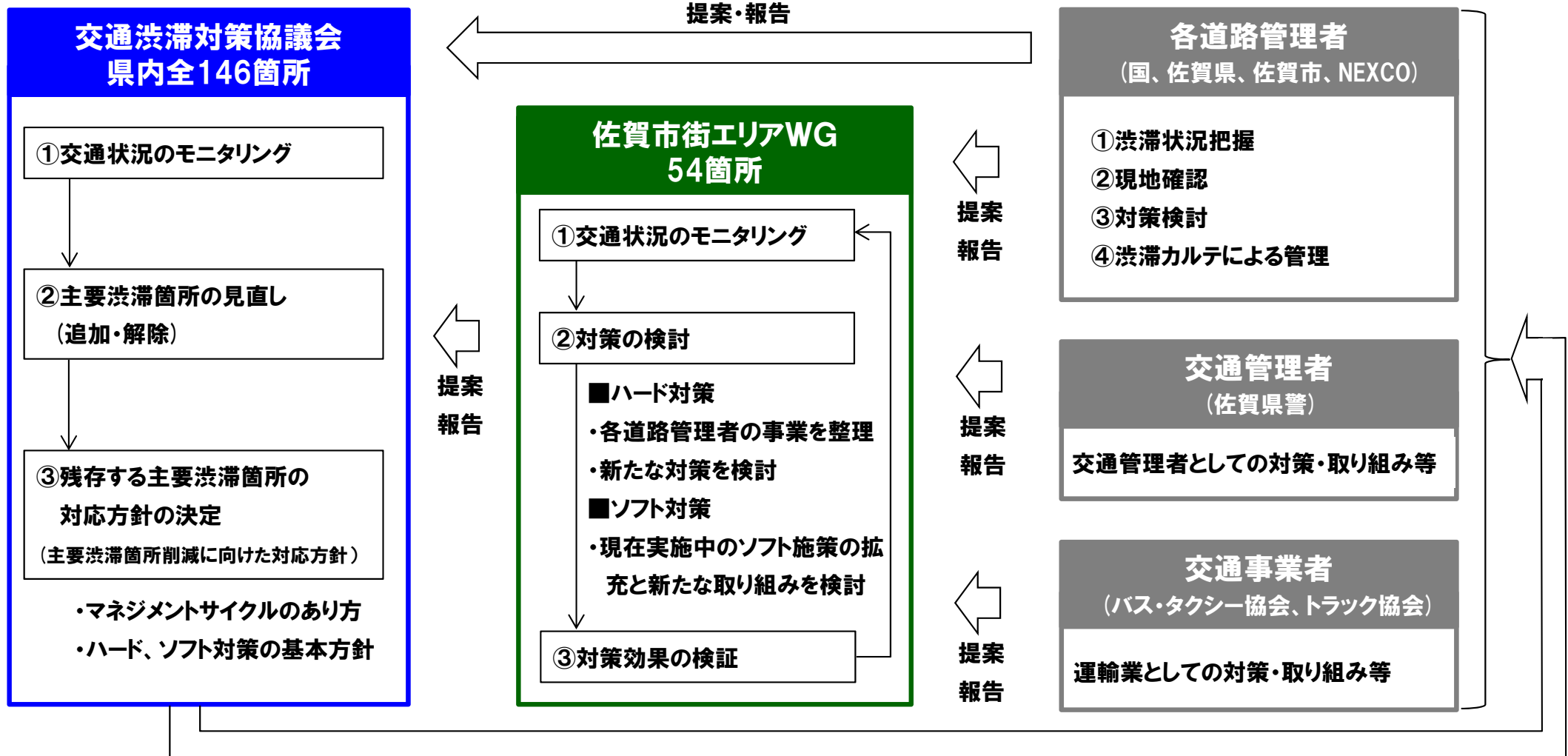


1. これまでの検討経緯

(4) 役割分担と進め方

- 交通渋滞対策協議会では、残存する主要渋滞箇所について交通状況をモニタリングすると共に、渋滞解消に向けた対応方針の協議・決定を行う、また必要に応じた主要渋滞箇所の解除の検討を行う
- 佐賀市街エリアワーキング部会では、協議会と同様に交通状況をモニタリングすると共に全体の約4割が集中する佐賀市街地を中心に渋滞解消に向けた対策の検討・協議を行う

■各関係機関の役割と検討の流れ



2. 交通状況のモニタリング

(1) 最新データによるモニタリング結果の報告

- 最新の交通データにより、主要渋滞箇所(一般道)の選定基準の該当状況をモニタリング
- モニタリングの結果、**主要渋滞箇所(一般道)の選定基準に該当しない箇所が4箇所存在**することを確認

佐賀県内の主要渋滞箇所(一般道)

主要渋滞箇所数	集約区間数	箇所数
	34区間	71箇所
146箇所	(75箇所)	71箇所

箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成
 区間: 交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

▼主要渋滞箇所(一般道)の選定基準

曜日・時間帯	選定基準
平日 朝 (7時~9時)	平均速度20km/h未満 ※いずれか一方でも該当する箇所
平日 夕 (17~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	

▼主要渋滞箇所(一般道)の点検結果

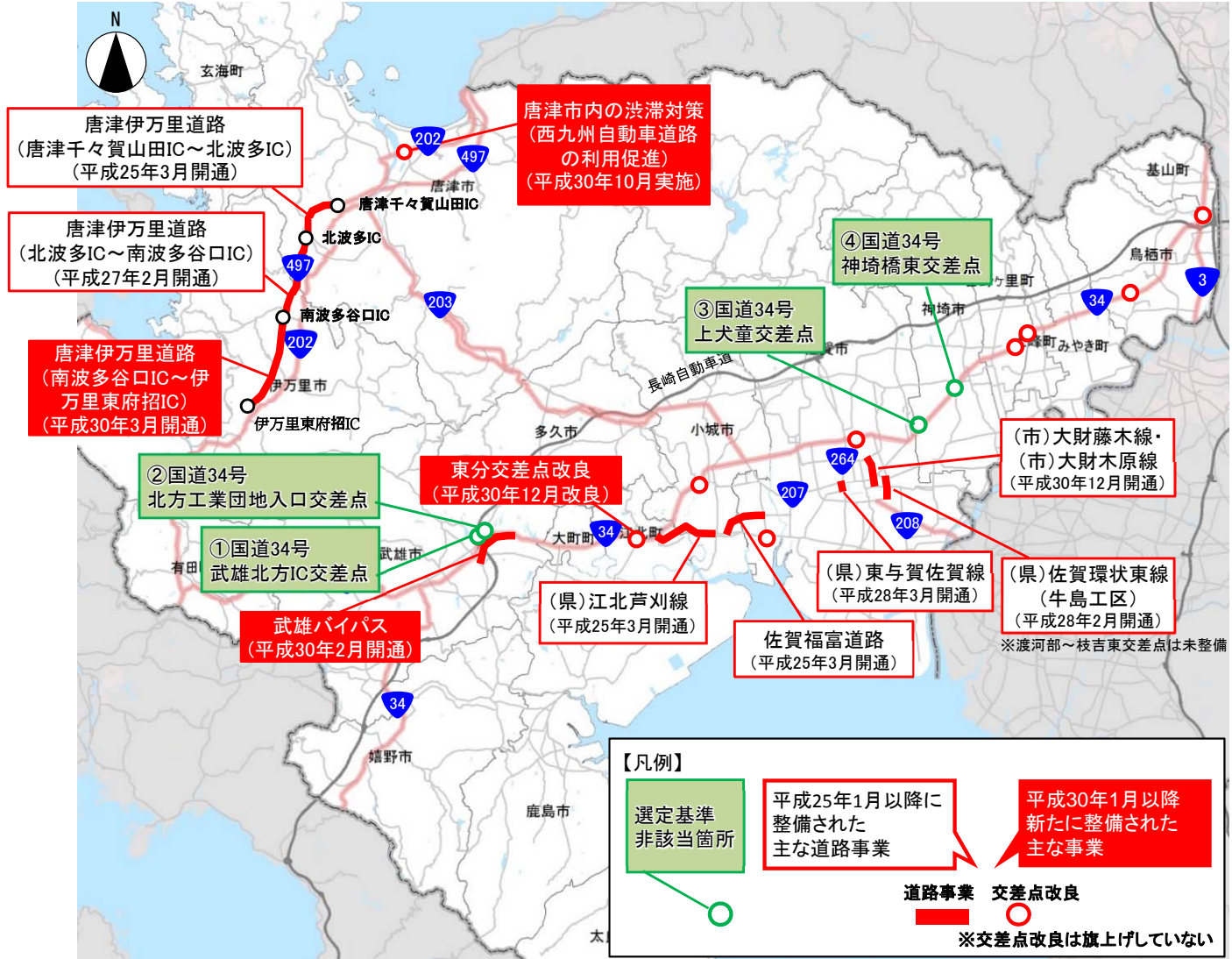
主要渋滞箇所数	選定基準該当箇所数	選定基準非該当箇所数
146箇所	142箇所	4箇所

※プローブデータ(H30.4-H30.9)

▼選定基準非該当箇所(4箇所)

- ① 国道34号 武雄北方IC
- ② 国道34号 北方工業団地入口
- ③ 国道34号 上犬童
- ④ 国道34号 神埼橋東

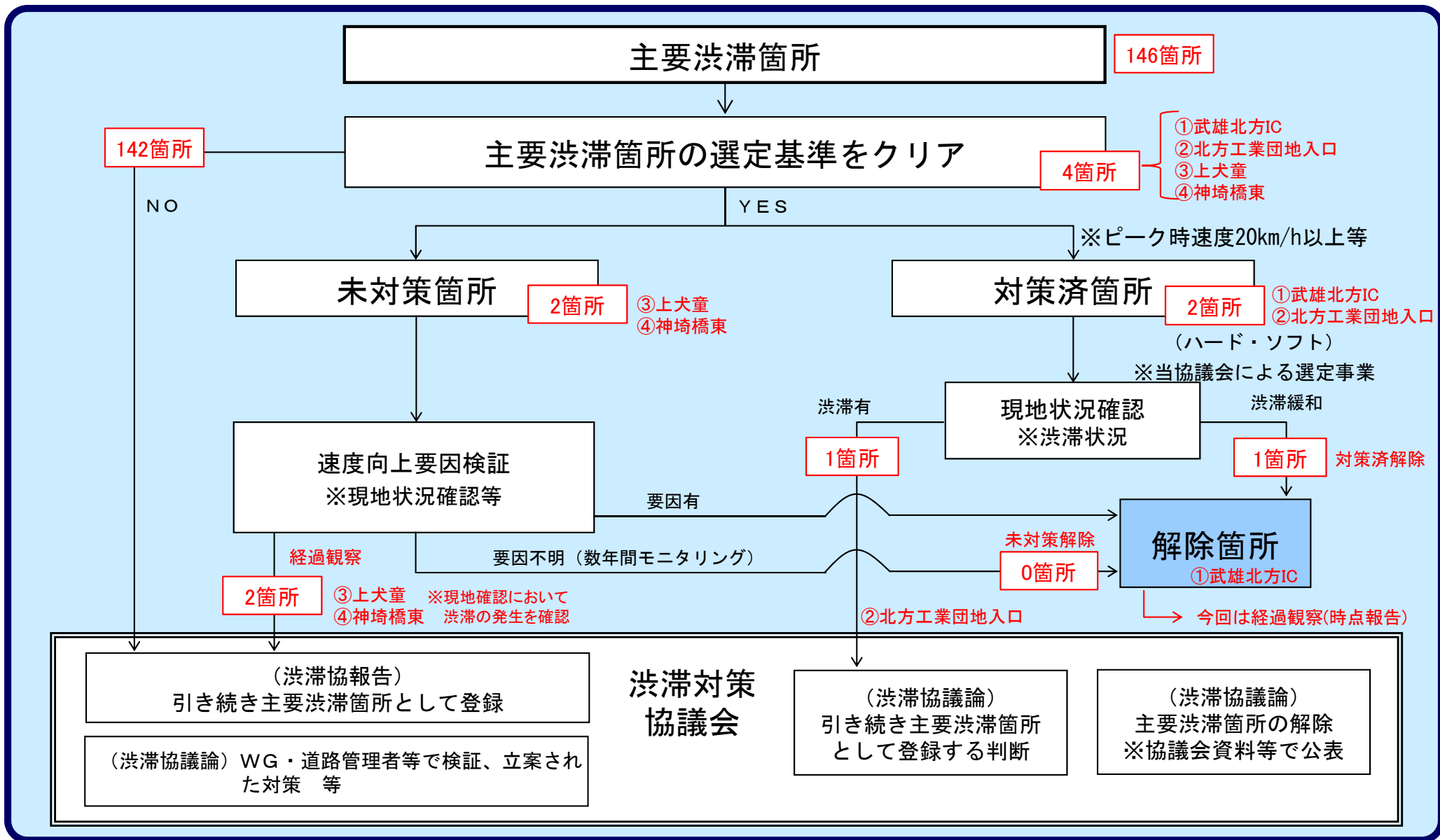
佐賀県内の主要渋滞箇所とH25.1以降に整備された主な道路事業



2. 交通状況のモニタリング

(2)現時点での選定基準非該当箇所の確認

○主要渋滞箇所の解除については、最新の1年間分(平成30年度分)のデータを用いたモニタリング結果を基に来年度協議会で協議に諮る予定



2. 交通状況のモニタリング

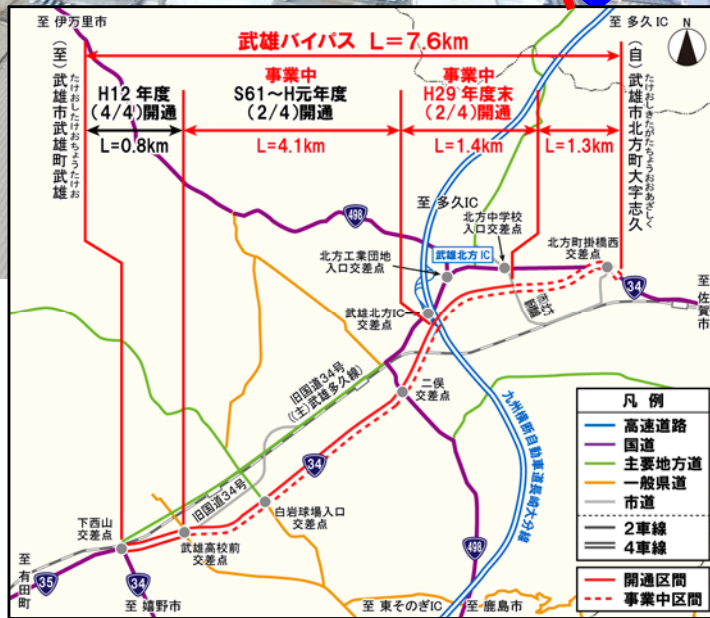
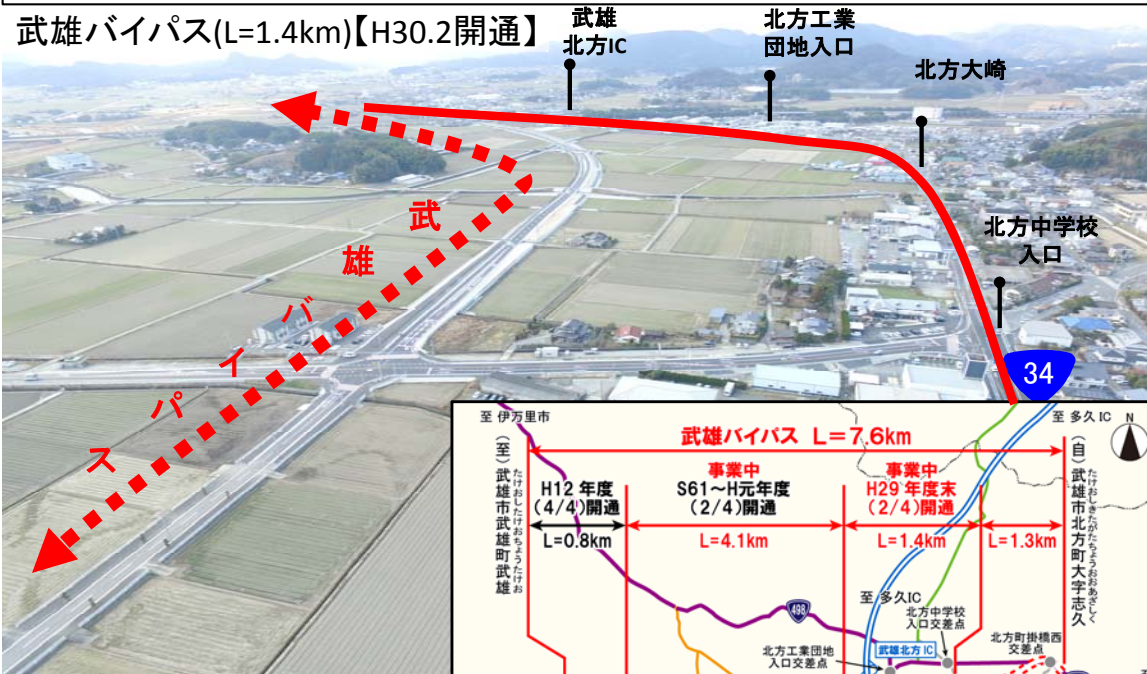
(3)平成30年対策実施箇所対策効果の確認【国道34号武雄バイパス】

- 平成30年2月に武雄バイパスの開通に伴い、**国道34号を通行する交通の約3割が武雄バイパスに転換**
- バイパスの**並行現道(国道34号)に位置する4つの主要渋滞箇所の混雑が緩和**

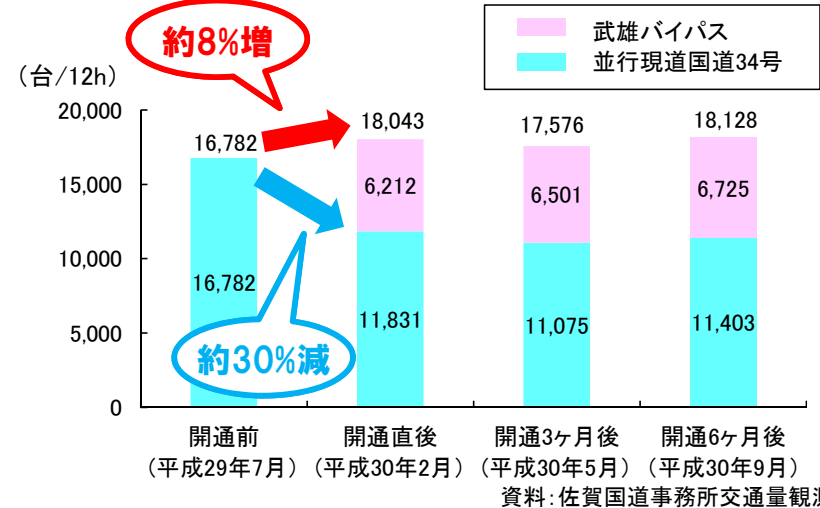
事業概要

武雄バイパスは武雄市街地の通過交通(主に国道34号)を排除し、
現道部の交通環境改善を目的とする道路

武雄バイパス(L=1.4km)【H30.2開通】



武雄BP開通前後の交通量変化



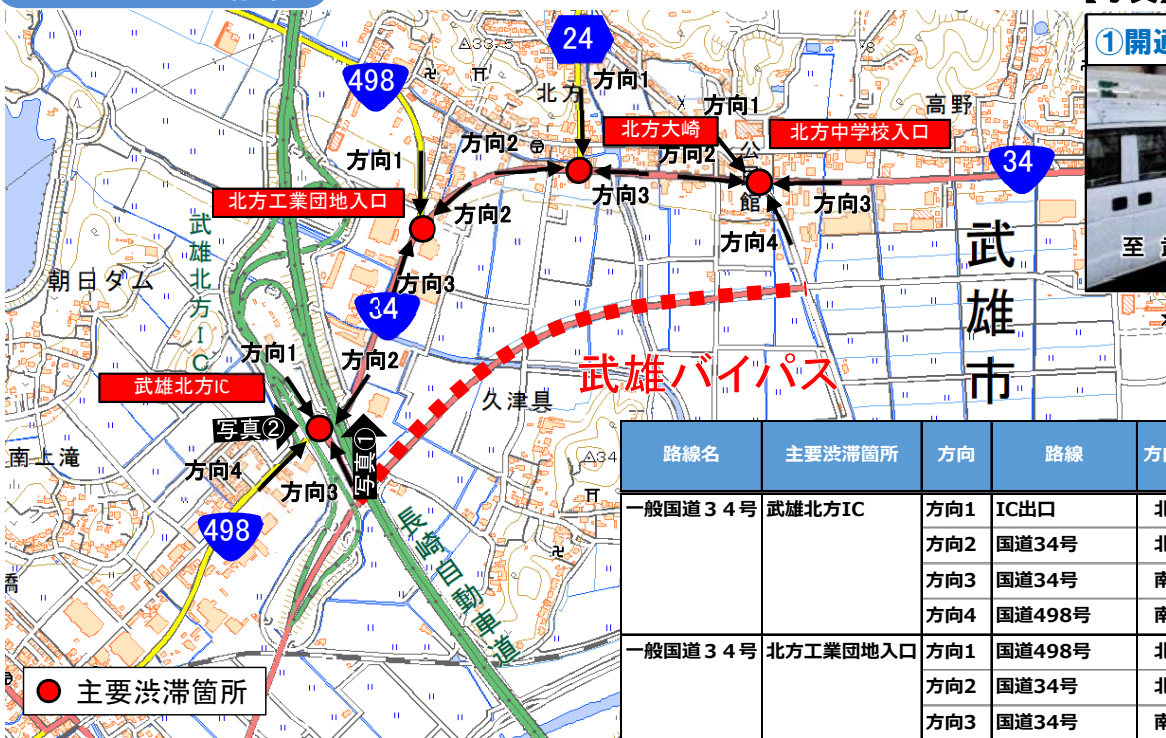
2. 交通状況のモニタリング

(3)平成30年対策実施箇所の対策効果の確認【国道34号武雄^{たけお}バイパス】

- 最新のプローブデータを用いて4つの主要渋滞箇所のモニタリングを実施
- バイパス開通により並行現道(国道34号)に位置する4つの主要渋滞箇所の混雑が緩和、武雄北方IC交差点では渋滞解消を確認(現段階の解除候補)
- 残る3箇所の交差点では国道34号側の混雑解消は確認されたが、従道路側での渋滞の残存を確認したため経過観察とし、今後対応を検討

モニタリング結果

【写真】武雄北方IC交差点：方向2



※プローブデータ

路線名	主要渋滞箇所	方向	路線	方向角	①選定時(H24.4-H24.8平均)			②最新(H30.4-H30.9平均)			現地状況 渋滞の発生	今後の対応方針
					平日朝	平日夕	休日	平日朝	平日夕	休日		
一般国道34号	武雄北方IC	方向1	IC出口	北西	21.5	6.7	15.3	33.3	34.5	33.6	無し	【解除候補】 (今回は経過観察)
		方向2	国道34号	北東	21.0	17.1	22.3	28.5	28.2	27.5	無し	
		方向3	国道34号	南東	8.8	17.5	9.9	21.4	21.3	22.2	無し	
		方向4	国道498号	南西	14.0	15.2	18.9	25.2	29.6	27.5	無し	
一般国道34号	北方工業団地入口	方向1	国道498号	北西	38.8	39.4	42.9	32.3	26.9	36.8	有り	【経過観察】 従道路側での混雑を確認
		方向2	国道34号	北東	21.8	19.9	24.0	25.9	27.6	28.8	無し	
		方向3	国道34号	南西	18.8	17.5	19.7	25.5	26.0	30.1	無し	
一般国道34号	北方大崎	方向1	(主)武雄多久線	北	7.1	7.7	8.9	9.5	7.0	10.2	有り	【経過観察】 従道路側での混雑を確認
		方向2	国道34号	西	23.1	23.7	25.2	29.1	28.7	29.9	無し	
		方向3	国道34号	東	21.1	20.9	26.0	29.2	28.1	30.2	無し	
一般国道34号	北方中学校入口	方向1	市道	北西	18.2	20.2	19.5	21.6	22.9	21.8	無し	【経過観察】 従道路側での混雑を確認
		方向2	国道34号	西	38.7	38.0	37.5	31.6	27.5	27.2	無し	
		方向3	国道34号	東	30.5	25.5	29.5	26.4	22.9	22.8	無し	
		方向4	市道	南東	13.2	16.0	15.8	14.2	10.7	8.7	有り	

2. 交通状況のモニタリング

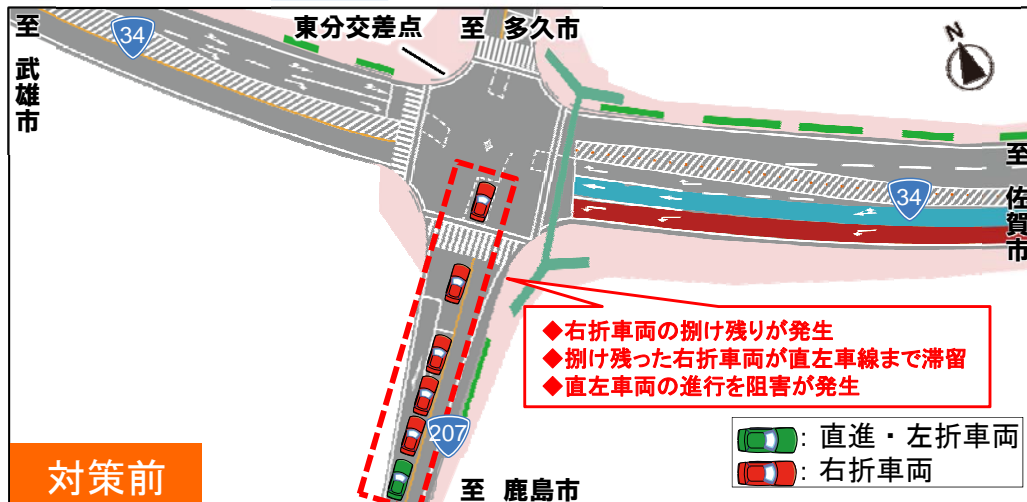
(3)平成30年対策実施箇所の対策効果の確認【国道34号東分交差点改良】

- 国道34号東分交差点では国道207号(至鹿島市)から佐賀市街地へ向かう右折の捌け残りが発生、また右折の捌け残りが他方向の進行も阻害
- 平成30年12月に国道207号の右折レーン増設・延伸を実施した結果、対策方向の渋滞解消を確認(約270m⇒解消)、平均速度も約5km/h向上、今後も引き続き継続的にモニタリングを実施

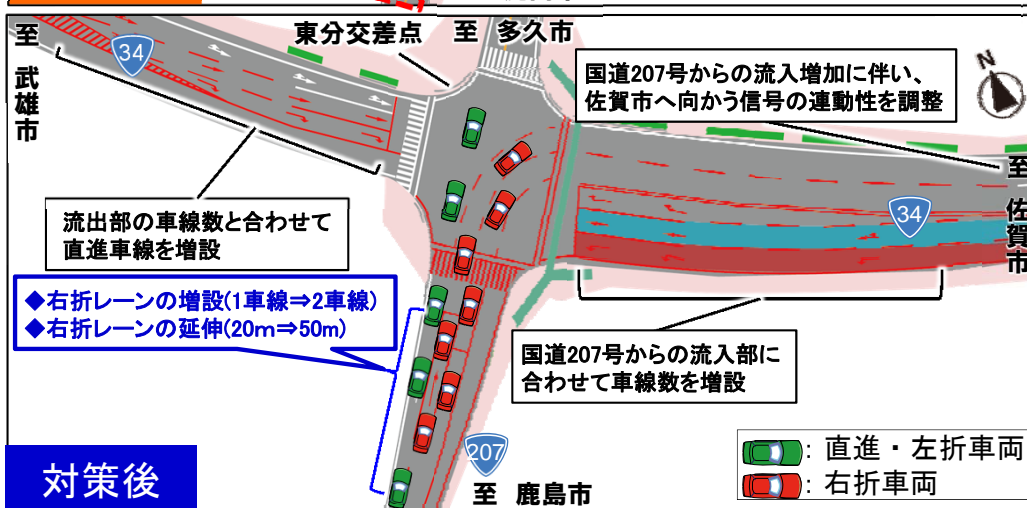
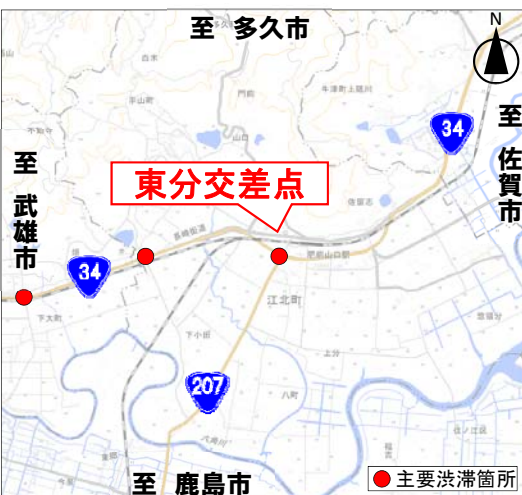
位置図



対策概要及び対策効果



渋滞長:約270m
平均速度:21.7km/h
※調査日: H29.10.26(木)/朝ピーク時
ETC2.0プローブ情報(H30.4-9)



渋滞長:解消
平均速度:27.5km/h
※調査日: H31.1.17(木)/朝ピーク
ETC2.0プローブ情報(H31.1)

2. 交通状況のモニタリング

おおどい

(3)平成30年対策実施箇所対策効果の確認【国道202号大土井交差点の対策】

- 国道202号(大土井交差点付近)では唐津市街地内を行き来する交通や福岡⇔唐津市街地以西を行き来する広域交通が集中し、混雑が発生
- 当該路線を通行する広域交通を標識案内の変更やチラシ配布により、並行する西九州自動車道へ誘導する施策を実施(平成30年10月:標識変更、平成30年12月:チラシ配布を開始)

対策概要



【ピーク時の混雑状況】



撮影:H30.6.14ピーク時

【国道202号の使い方】

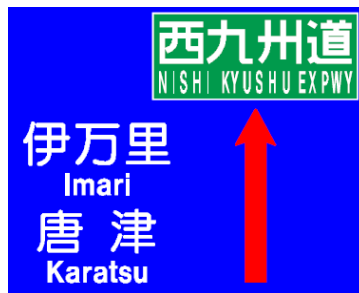
(大土井交差点東側流入分の交通内訳)



【西九州自動車道への誘導対策】

(1)標識案内の変更

対策前



対策後



西九州道で唐津市街地へ誘導

(2)チラシの配布

オススメ POINT 1 信号待ちが無い!

- ◎自動車専用道路なので、快適走行!
- ◎料金は無料!
- ◎移動時間は一般道と同じ! ※2)
- ◎渋滞回避でガソリン代も安い! ※3)

オススメ POINT 2 案内標識に沿って走行!

- ◎国道202号の朝・夕の渋滞を回避!
- ◎西九州自動車道を利用するルートを標識で案内しています(13箇所)

佐賀県交通渋滞対策協議会

2. 交通状況のモニタリング

(3)平成30年対策実施箇所への対策効果の確認【国道202号大土井交差点の対策】

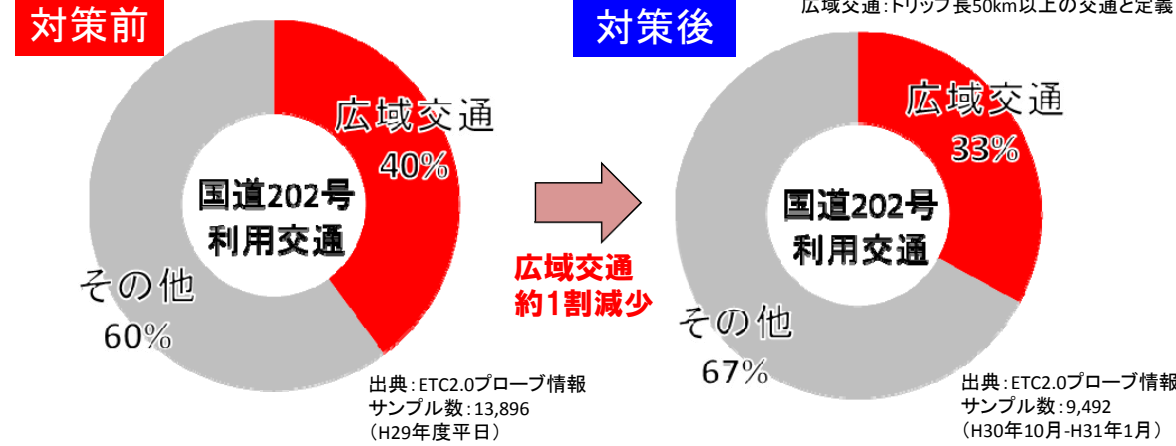
- 対策実施により国道202号を利用する広域交通の約1割が減少、広域交通の分担率の改善したことを確認
- 対策方向(国道202号東側)の平均速度については対策前後で向上が確認されていないことから、今後も引き続き継続的にモニタリングを実施



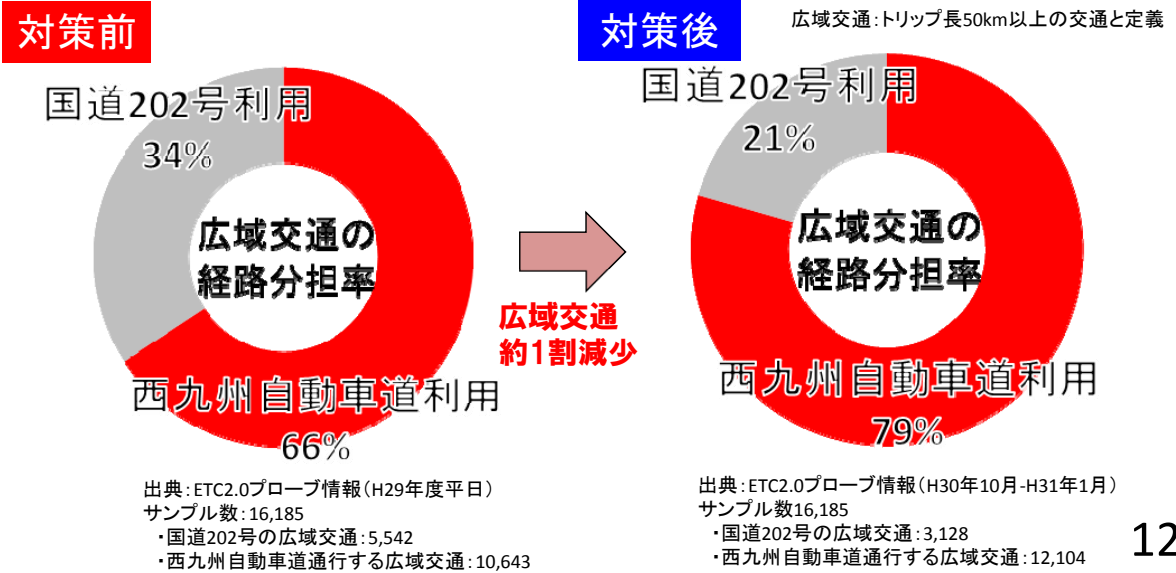
【対策実施方向の平均旅行速度】 出典:ETC2.0プローブデータ

対策方向(国道202号東側)		平均速度		
期間		平日朝	平日夕	休日
選定時	H24.4-H24.8	22.5	22.0	23.1
対策前	H29.4-H30.3	24.8	21.7	24.9
	H30.4-H30.9	20.4	18.1	22.1
対策後	H30.10-H31.1	22.2	17.1	24.2

【国道202号の使われ方】
(国道202号の分析断面を通行する交通を対象)



【広域交通の利用経路の分担率】
(国道202号及び西九州自動車道を通行する交通を対象)



2. 交通状況のモニタリング

(4) 選定基準非該当箇所の確認 (未対策箇所)

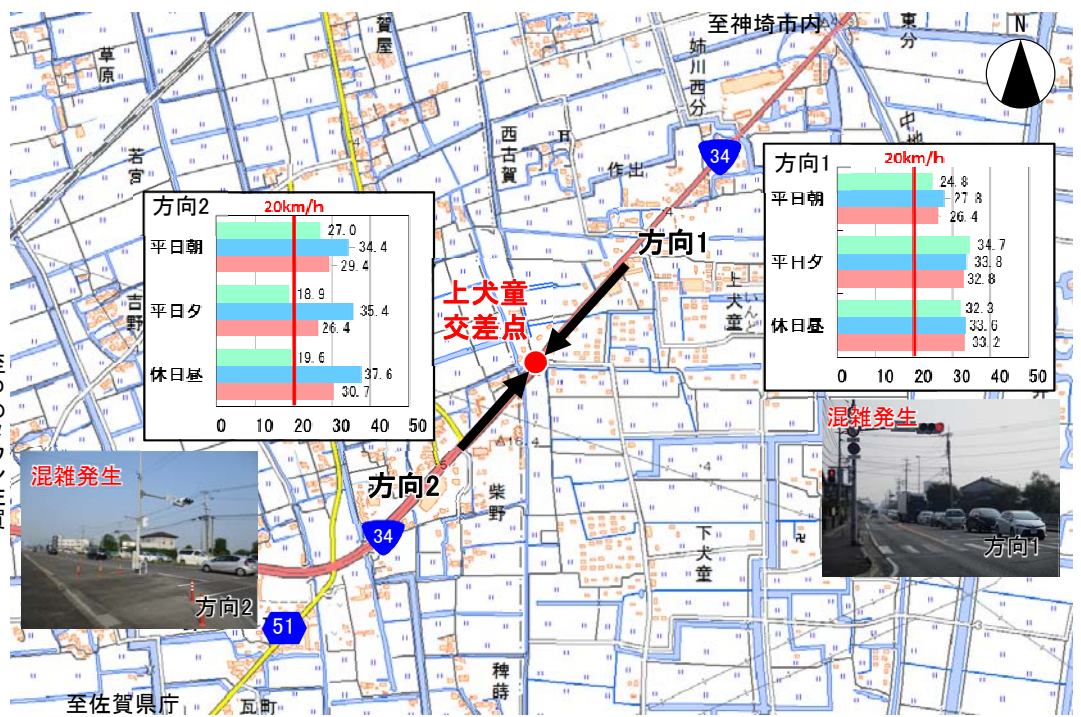
① 上犬童交差点(神崎市)

○各方向平均速度20km/h以上を確認し、主要渋滞箇所の選定基準をクリア、現地で渋滞の発生を確認
⇒経過観察

上犬童交差点のモニタリング ※最低方向の平均速度を記載

時間帯	平均速度※ (km/h)			解除判断
	選定時	前回	今回	
平日朝	24.8	27.8	27.8	経過観察
平日夕	18.9	33.8	33.8	
休日昼	19.6	33.6	33.6	

凡例 ※プローブデータ
■ 選定時(H24.4~H24.8)
■ 前回(H29.4~H30.3)
■ 今回(H30.4~H30.9)



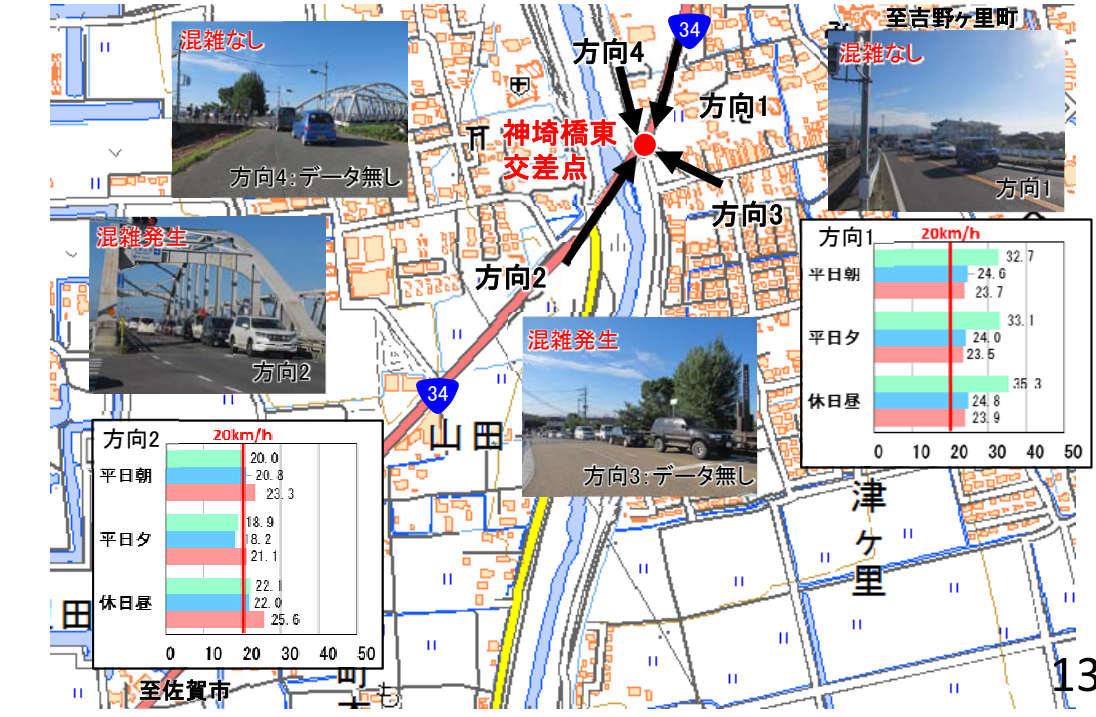
② 神埼橋東交差点(神崎市)

○各方向平均速度20km/h以上を確認し、主要渋滞箇所の選定基準をクリア、モニタリングを継続
⇒経過観察

神埼橋東交差点のモニタリング ※最低方向の平均速度を記載

時間帯	平均速度※ (km/h)			解除判断
	選定時	前回	今回	
平日朝	20.0	20.8	23.3	経過観察
平日夕	18.9	18.2	21.1	
休日昼	22.1	22.0	23.9	

凡例 ※プローブデータ
■ 選定時(H24.4~H24.8)
■ 前回(H29.4~H30.3)
■ 今回(H30.4~H30.9)



2. 交通状況のモニタリング

(5)対策済み箇所での交通状況の確認

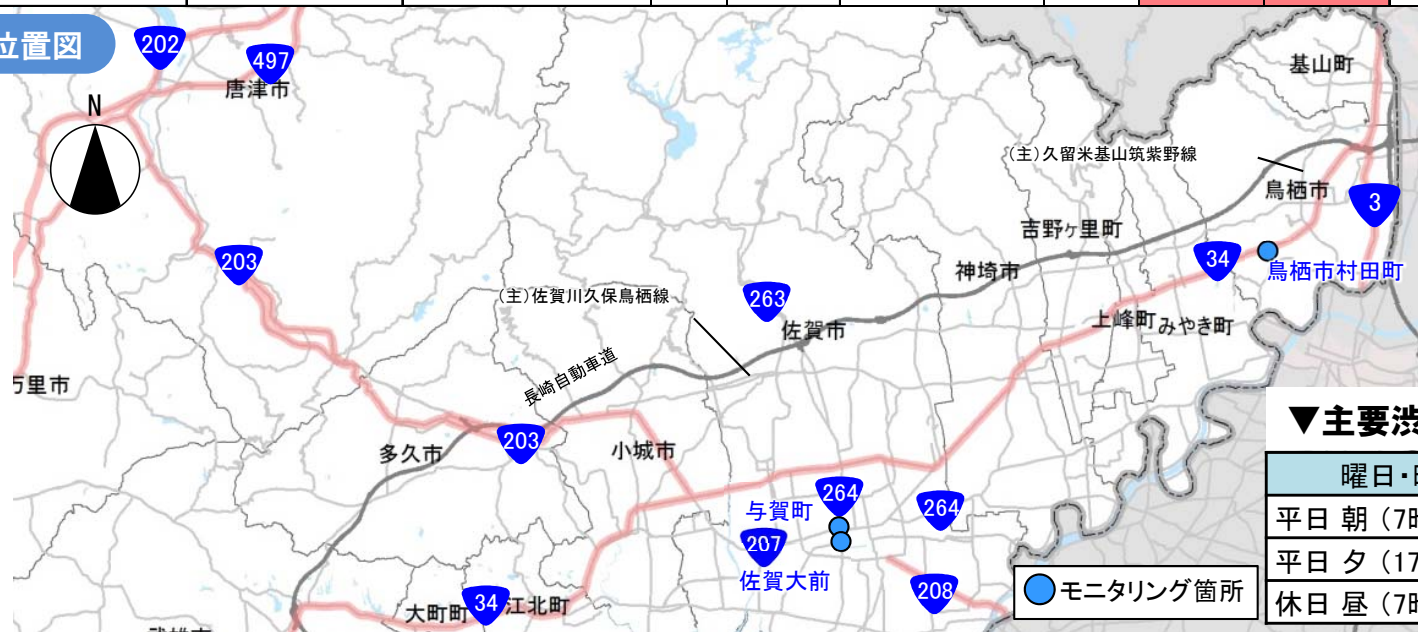
○対策済み3箇所のモニタリングを実施し、**各箇所とも依然として選定基準(平均速度20km/h未満)に該当しているため、引き続きモニタリングを実施**

主要渋滞箇所対策実施箇所一覧

凡例
20km/h以下

区間 No	箇所 No	路線名	主要渋滞箇所	事業名	事業 主体	供用 年次	路線	方向角	①選定時(H24.4-H24.8平均)			②最新(H30.4-H30.9平均)		
									平日朝	平日夕	休日	平日朝	平日夕	休日
26		一般国道34号	鳥栖市村田町	交差点改良	国	H25.3	国道34号	西	18.4	17.4	20.3	20.0	21.2	28.6
							国道34号	東	19.7	22.6	30.5	14.7	23.0	24.6
							県道145号	南	9.1	18.5	19.6	6.4	10.5	14.4
12、13		一般国道207号	与賀町	(県)与賀町鹿子線	県	H28.3	国道264号	北	8.3	7.3	10.7	10.2	8.9	12.8
							国道207号	西	7.9	12.3	14.1	14.1	15.8	16.8
							主要地方道54号	南	14.9	14.1	16.5	16.6	13.6	22.5
							国道207号	東	14.5	10.8	14.1	15.7	11.3	15.2
12		(主)西与賀佐賀線	佐賀大前	(県)与賀町鹿子線	県	H28.3	主要地方道54号	北	11.4	12.6	13.7	16.9	18.6	20.1
							主要地方道54号	西	8.9	10.3	13.4	11.2	10.4	13.3
							市道	東	-	-	-	-	-	-
							県道260号	南	17.0	18.6	22.7	22.8	23.9	30.0

対策実施箇所の位置図



単位: km/h
※プローブデータ

▼主要渋滞箇所(一般道)の選定基準

曜日・時間帯	選定基準
平日 朝 (7時~9時)	平均速度20km/h未満 ※いずれかの方向が該当
平日 夕 (17~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	

2. 交通状況のモニタリング

(6) 解除済み箇所へのモニタリング

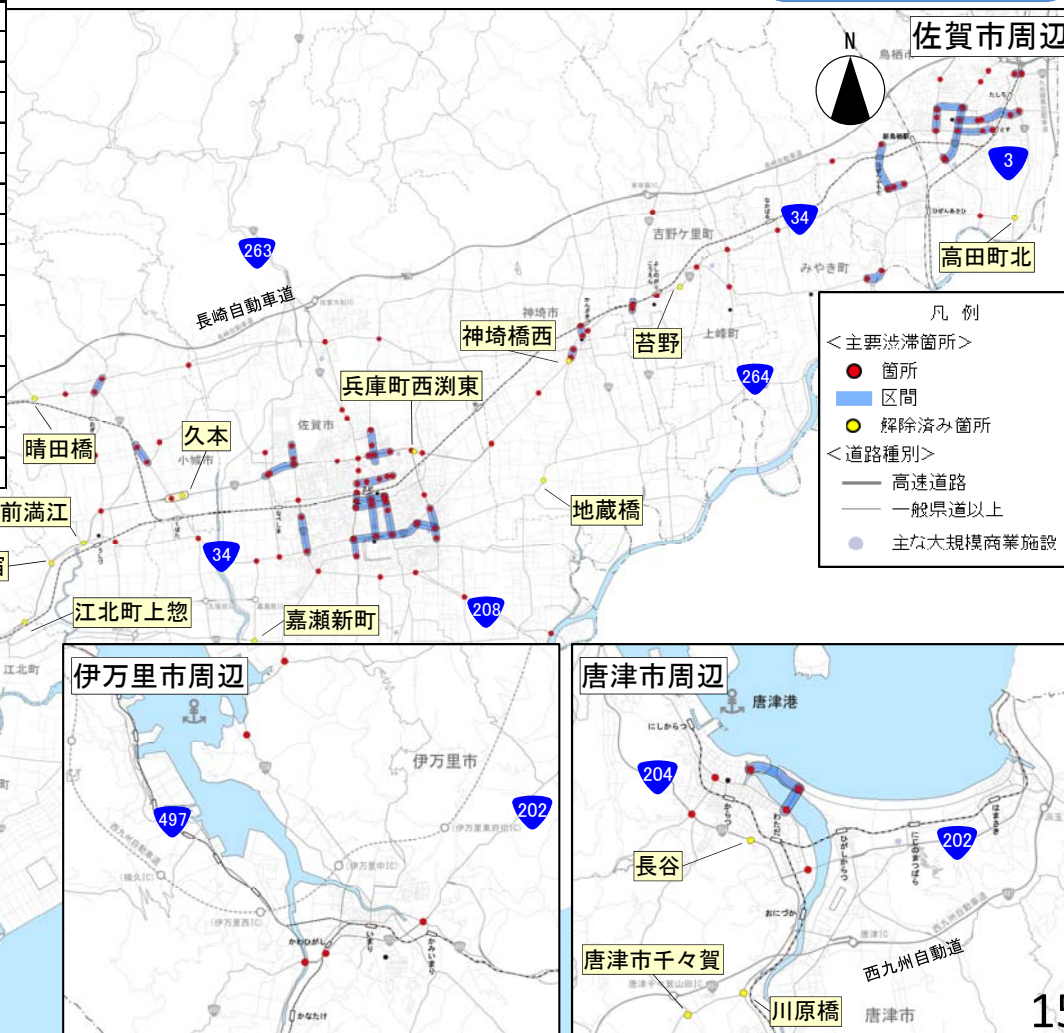
- 最新の交通データにより、主要渋滞箇所(一般道)の選定基準の該当状況をモニタリング
- モニタリングの結果、**解除済みの全て箇所において選定基準非該当(平均速度20km/h以上)**であることを確認

主要渋滞箇所の解除箇所一覧

赤字: 20km/h以下

No	路線名	交差点名	市区町村	解除年次	選定時平均速度 (km/h)			最新平均速度(km/h)			H25.1以降 に実施した 道路整備事業
					[H24.4~8]			[H29.4~H30.3]			
					平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
1	一般国道34号	牛津町砥川新宿	小城市	H29	15.5	16.9	16.7	20.4	22.6	22.9	(県) 江北芦刈線
2	一般国道34号	前満江	小城市	H29	19.0	14.6	15.4	23.6	21.4	22.3	(県) 江北芦刈線
3	一般国道34号	苔野	吉野ヶ里町	H29	15.5	15.8	18.9	25.8	24.8	26.0	交差点改良
4	一般国道34号	江北町上惣	江北町	H29	13.2	15.0	17.3	27.9	28.8	34.5	交差点改良
5	一般国道203号	川原橋	唐津市	H29	19.0	23.3	23.8	20.7	26.4	26.0	佐賀福富道路
6	一般国道444号	嘉瀬新町	佐賀市	H29	18.8	22.5	17.0	25.6	29.5	31.6	唐津伊万里道路
7	一般国道202号	唐津市千々賀	唐津市	H29	21.9	19.4	13.3	25.4	26.8	28.1	唐津伊万里道路
8	一般国道34号	下潟	大町町	H30	30.4	16.1	10.8	29.6	29.4	31.0	-
9	一般国道203号	晴田橋	小城市	H30	22.1	13.3	15.6	21.0	23.6	25.6	-
10	一般国道34号	神埼橋西	神崎市	H30	22.9	14.6	12.7	26.7	24.7	27.1	-
11	一般国道34号	兵庫町西洲東	佐賀市	H30	25.8	22.5	15.8	30.6	35.3	37.0	-
12	一般国道34号	久本	小城市	H30	16.1	25.3	26.6	30.6	35.3	37.0	-
13	一般国道3号	高田町北	鳥栖市	H30	20.5	20.9	16.1	23.5	25.7	22.4	-
14	一般国道204号	長谷	唐津市	H30	19.4	21.9	25.6	24.9	20.8	22.1	-
15	一般国道264号	地蔵橋	神崎市	H30	17.3	14.9	25.4	24.3	23.2	21.9	-
16	一般国道498号	牛間田新道	嬉野市	H30	15.6	19.2	18.6	28.3	27.8	31.6	-

解除箇所の位置図



※最低方向の平均速度を記載

※プローブデータ

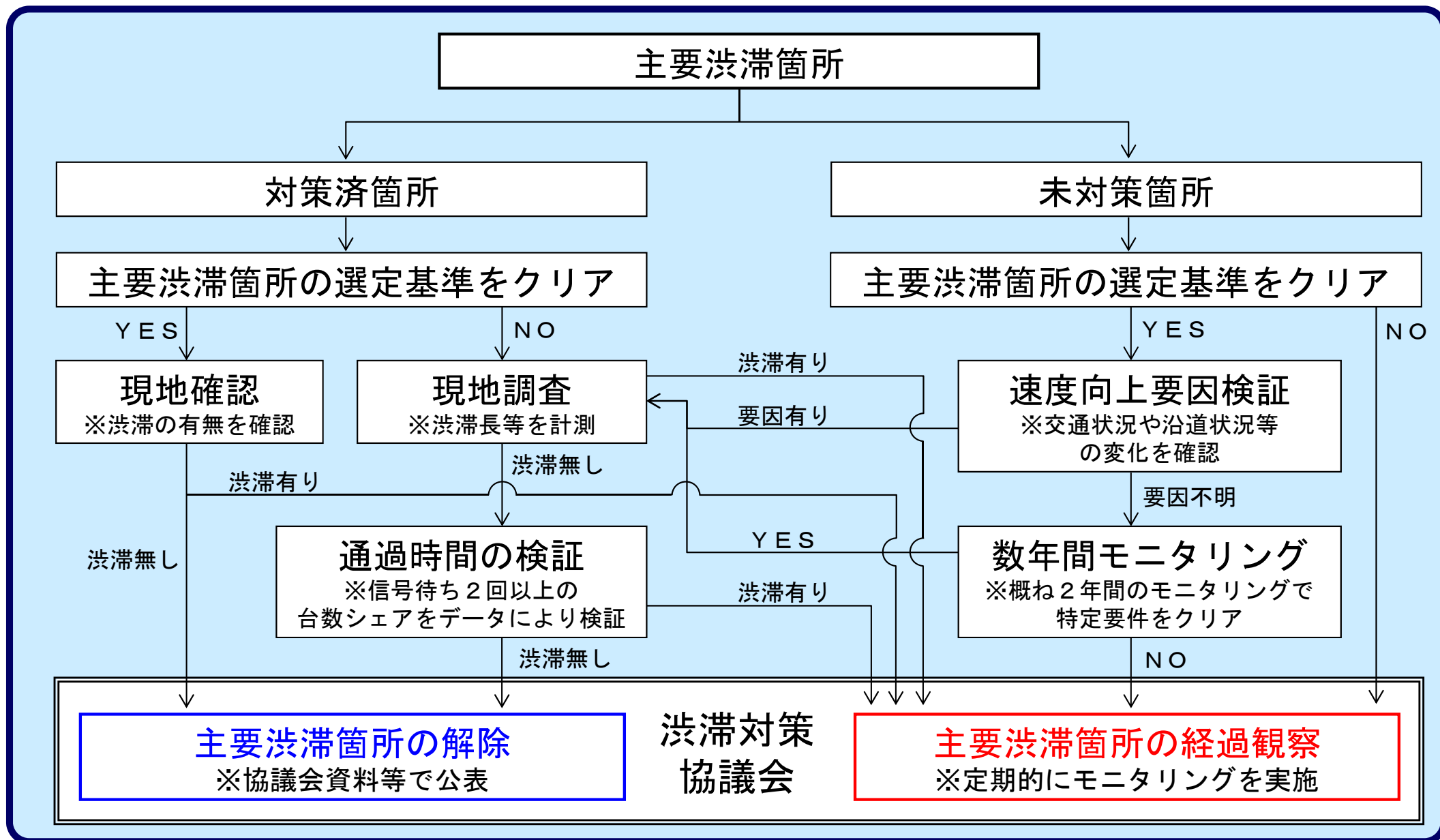
▼主要渋滞箇所(一般道)の選定基準

曜日・時間帯	選定基準
平日 朝 (7時~9時)	平均速度20km/h未満 ※いずれかの方向が 該当
平日 夕 (17~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	

3. 主要渋滞箇所の解除フローの見直し

(1) 解除フローの見直し案

○主要渋滞箇所の解除フローの見直しについて提案



3. 主要渋滞箇所の解除フローの見直し

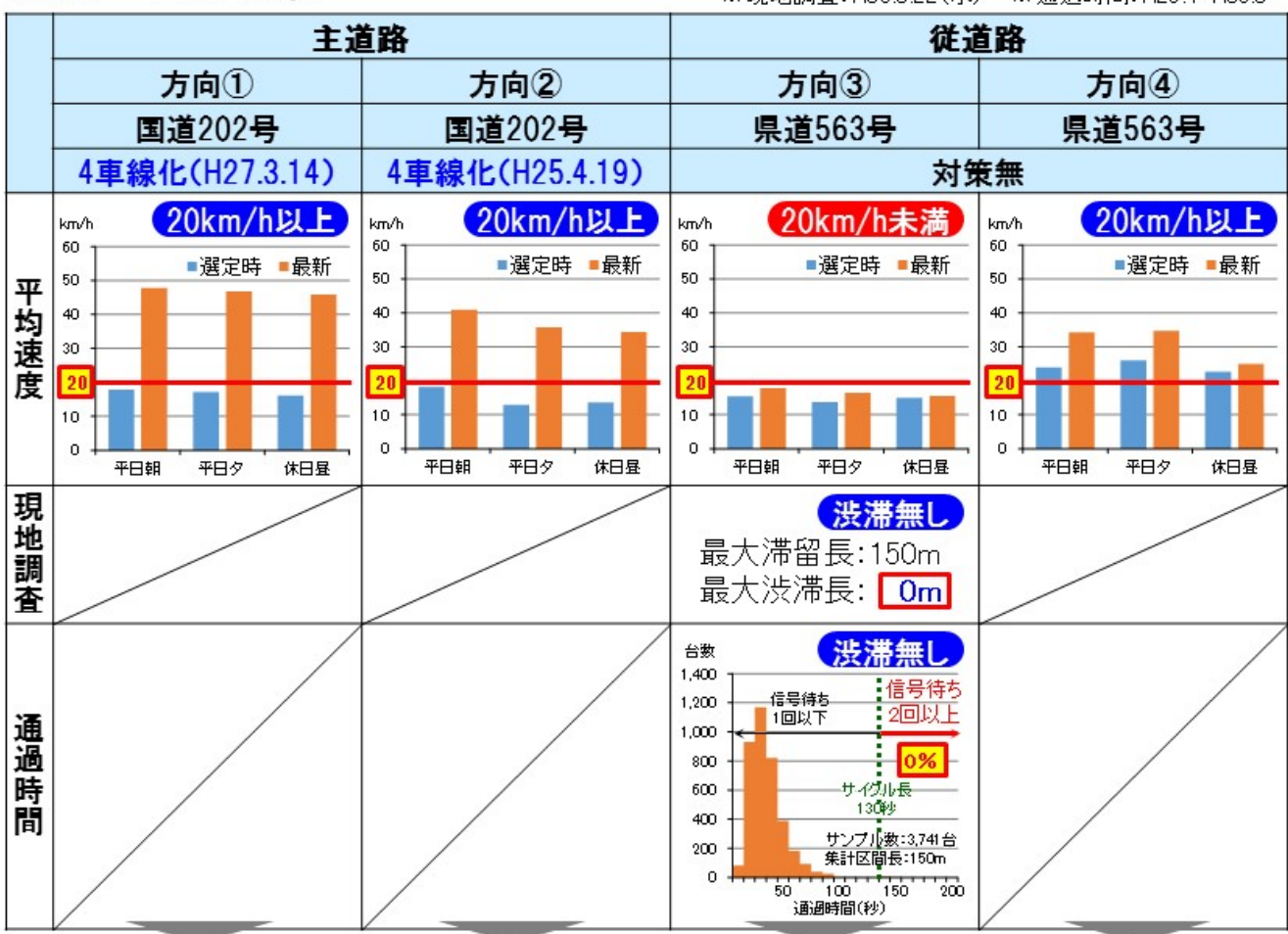
(2) 主要渋滞箇所の解除方法案【(事例) 福岡県福岡市西区国道202号波多江交差点】

- 主道路である国道202号は、4車線化により、平均速度が20km/h以上に向上
- 従道路である県道563号の「方向③」は、赤信号による停車時間のロスにより平均速度が20km/hを下回るが、現地調査や通過時間を検証した結果、渋滞は確認されなかった
- 以上の結果から、“主要渋滞箇所を解除”する



【フォローアップ結果】

※ 平均速度: 選定時 (H24.4-H24.8)、最新 (H29.4-H30.3)
 ※ 現地調査: H30.8.22 (水) ※ 通過時間: H29.4-H30.3



【参考】信号現示

	主道路	従道路
青時間	63秒	37秒
青時間比	48%	28%
サイクル長	130秒	

H30.8.22 (水) 17時台

主要渋滞箇所の解除

4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について

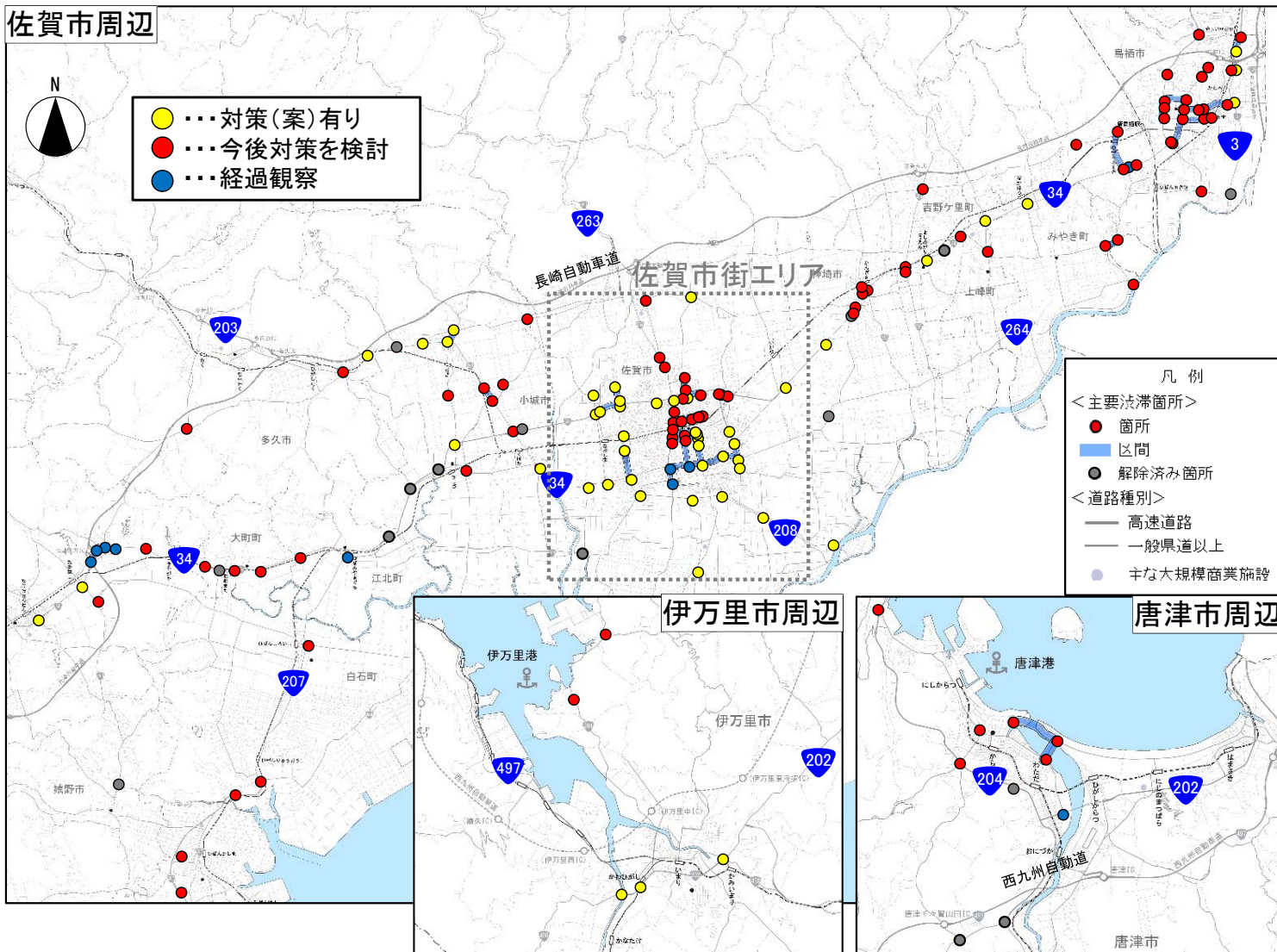
(1) 佐賀県内の主要渋滞箇所の対策実施状況

- 佐賀県の主要渋滞箇所は既存対策により約4割の主要渋滞箇所の渋滞解消・緩和効果が見込まれるが、**対策検討中箇所が約6割残存**
- 今後、対策検討中箇所については各道路管理者で主要渋滞箇所の渋滞要因を精査し、対策検討を推進

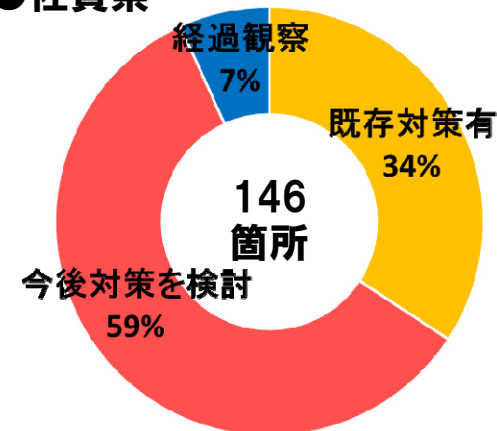
県内主要渋滞箇所の対策状況

※H31.2月現在

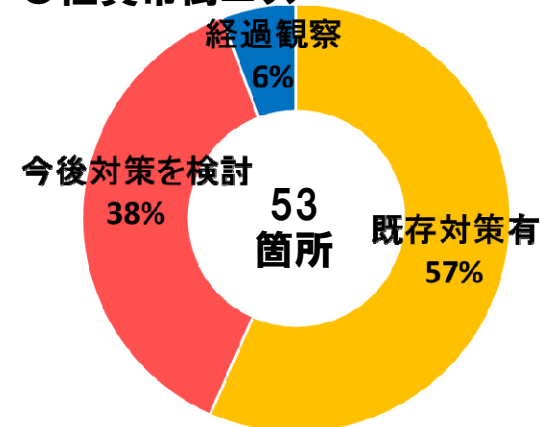
佐賀市周辺



● 佐賀県



● 佐賀市街エリア



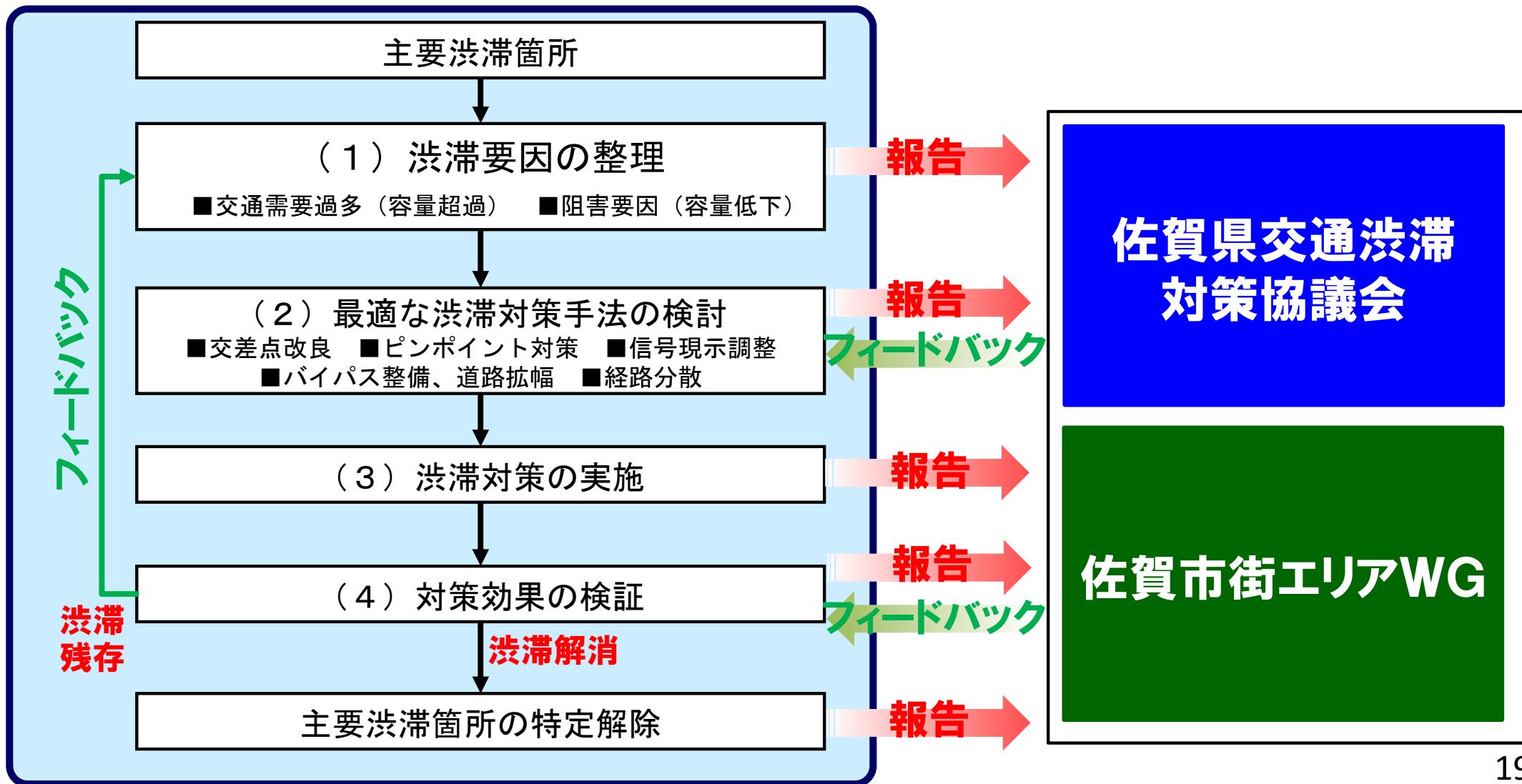
※既存対策有とは事業中箇所整備後に渋滞解消・緩和が見込まれる箇所、経過観察とは対策事業実施済の箇所。

4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について

(2) 主要渋滞箇所のマネジメントサイクル

- 各道路管理者は主要渋滞箇所の解除に向けて、渋滞対策のマネジメントサイクルを確実に実施
- 主要渋滞箇所の「渋滞要因の把握」、「対策検討」、「対策実施」、「対策効果検証」については、適宜交通渋滞対策協議会及び佐賀市街エリアワーキングで報告・フィードバックを実施

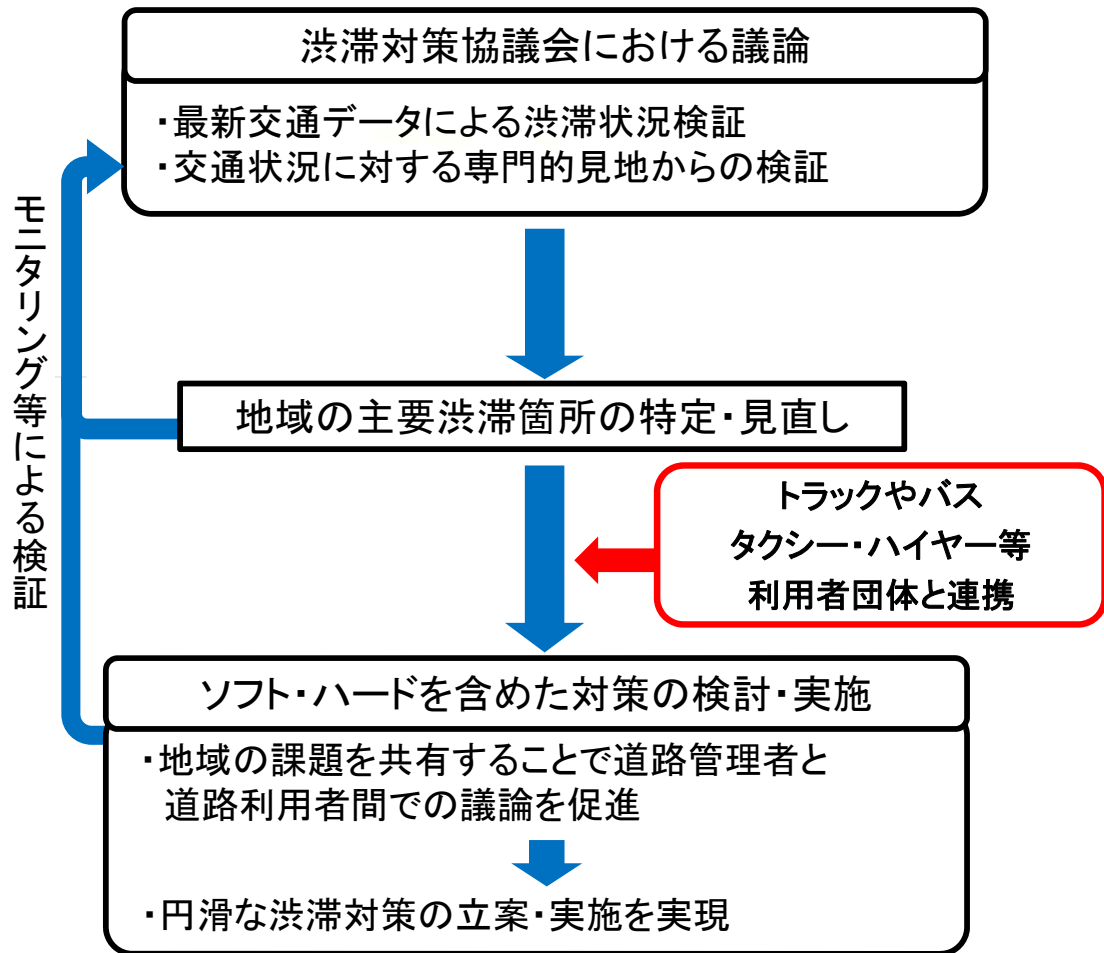
● 渋滞対策のマネジメントサイクル



4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について

(3)官民連携による渋滞対策

○人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、即効性のある渋滞対策を実施



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>

来年度も引き続き、トラック・バス等事業者から見た渋滞箇所の対策を実施予定

4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について

(3)官民連携による渋滞対策

【トラック協会からの対策要望箇所(平成30年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	国道3号 永吉交差点付近 国道34号 森田交差点付近(佐賀市) 県道31号 乗目交差点 国道3号 曾根崎交差点 国道34号 佐賀警察署前 国道34号 村田交差点(鳥栖市) 国道3号 姫方町交差点 国道34号 鳥栖市役所付近 国道34号 一本松交差点(鳥栖市) 国道34号 吉野の里・町田手交差点 国道34号 二本黒木交差点付近 国道34号 神埼警察署前 国道34号 協和町交差点 国道34号 佐賀医大入口 国道203号 畑田交差点付近 国道263号 尼寺南小路交差点	国道263号 運輸支局入口 県道17号 柚比IC～アウトレット鳥栖付近 県道31号 東脊振IC付近 県道48号 千布北交差点付近 県道54号 高太郎 県道224号 扇町 国道34号・県道248号 森田 唐津IC入り口交差点 【県外の道路】国道2号岡山バイパス 【県外の道路】国道2号廿日市～岩国線 【県外の道路】国道3号 北九州八幡～黒崎線 【県外の道路】国道3号 大野城～太宰府 【県外の道路】国道200号 朝日東交差点付近 【県外の道路】国道500号 大刀洗町十文字交差点付近 【県外の道路】国道500号 西鉄小郡踏切付近 【県外の道路】県道35号 粕屋～筑紫野

【バス協会からの対策要望箇所(平成30年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	国道264号・県道30号 片田江交差点付近 国道207号 八戸交差点付近 国道34号 北方工業団地入口交差点付近 国道202号 厚生年金センター交差点 国道202号・国道204号 二里大橋交差点 国道204号 名村造船出勤時渋滞 国道202号 大土井交差点付近 唐津東中・高～東唐津交差点 唐津ロイヤルホテル川側の道	国道34号 田手交差点付近 国道3号 永吉交差点付近 国道207号 与賀町交差点付近 国道207号 扇町交差点付近 国道34号・国道208号 佐大医学部入口交差点付近 【県外の道路】県道602号 天神交差点付近 【県外の道路】太閤道 東町交差点付近

【タクシー・ハイヤー協会からの対策要望箇所(平成30年10月)】

都道府県名	渋滞箇所	
佐賀県	国道34号 鳥栖市役所 交差点(鳥栖市) 国道34号 田手 交差点(吉野ヶ里町) 国道34号 佐大医学部入口 交差点(佐賀市) 佐賀市道 医大東通り、佐大病院正門から国道34号高架下付近(佐賀市) 国道34号 白岩公園入口 交差点(武雄市)	国道202号 二里大橋 交差点(伊万里市) 国道203号 畑田 交差点(小城市) 国道207号 八戸 交差点(佐賀市) 国道208号(県道267号) 新栄小学校 交差点(佐賀市) 県道347号 東唐津 交差点(唐津市)

4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について

(3) 官民連携による渋滞対策 (佐賀県の対策候補箇所)

- 国道34号佐大医学部入口交差点下り方向では佐賀大和IC方面へ向かう右折交通の捌け残りが発生、右折交通の滞留が直進左折車線を閉塞し、他方向の進行阻害も発生
- 停止線の前出しにより右折の捌け台数を増加させることで右折の混雑緩和に寄与

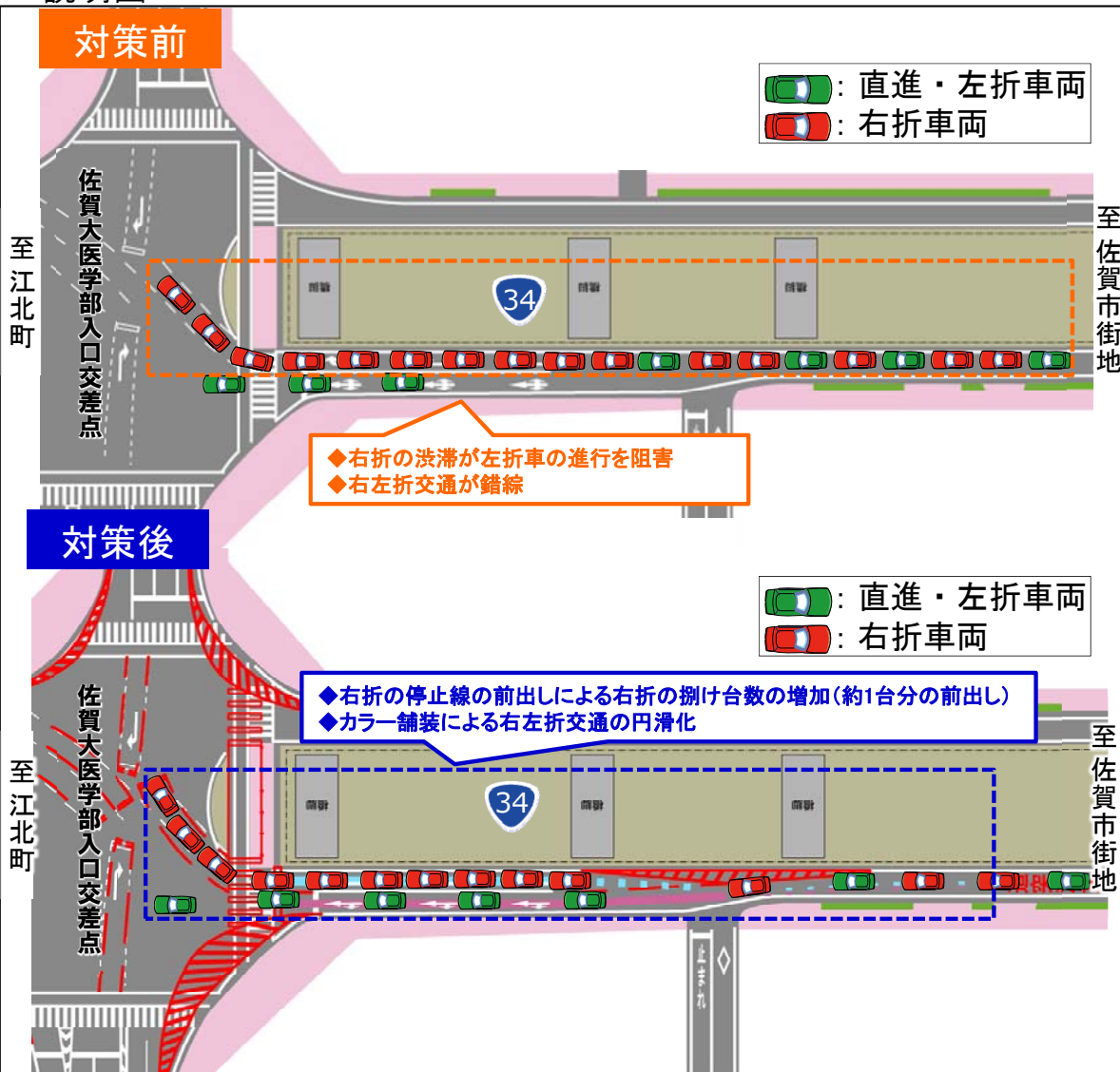
《位置図》



《広域図》



《説明図》



4. 次年度以降の渋滞対策の方向性について

(4) 都市部での時差出勤促進の取り組み

- 平成29年度に国道263号の渋滞緩和効果の検証、本格実施に向けた課題の把握を目的として、クルマ利用見直し社会実験を実施、実験期間中は佐賀市街地の混雑が一部緩和
- 平成30年度は更なる施策の促進のためにPRチラシを作成・配布、次年度以降はPRチラシの配布先を拡大し、取り組みを更に推進

H29年度の社会実験の概要及び施策実施の効果

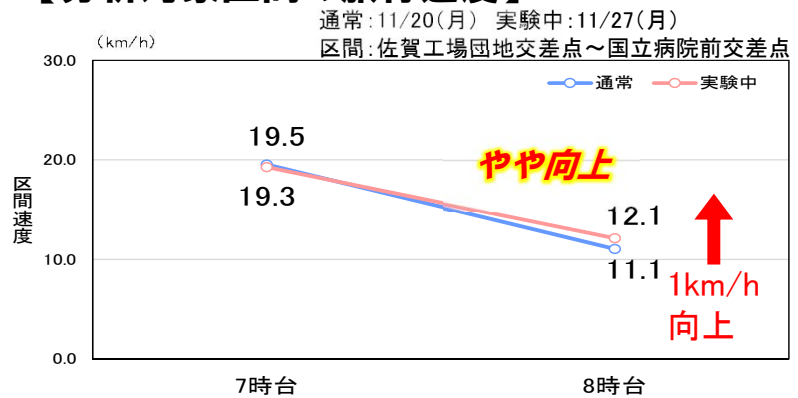
実験目的	国道263号の渋滞緩和効果の検証 本格実施に向けた課題の把握
実験期間	平成29年11月27日(月)～12月1日(金)
対象団体	佐賀国道事務所/佐賀県/佐賀市/佐賀県建設業協会加盟企業/佐賀県コンサルタント協会加盟企業
対象者	国道263号を利用の自家用車通勤者

【実験への参加方向】

①出勤時間の変更 ②交通手段の変更

等

【分析対象区間の旅行速度】



【位置図】



**クルマ利用見直しにより
佐賀市街地の混雑緩和に寄与**

H30年度の取り組み

**更なる促進のための
PRチラシを作成・配布**

“ラクラク通勤”始めてみませんか？



時差出勤・交通手段変更

いつもの出勤時間 約19分 → 時差出勤 約8分 (1時間早めれば)

マイカーから 鉄道、バス、自転車、相乗り通勤へ



5. 今後について

- エリアWGにおいて、最新データによるモニタリング結果等を有効に活用し、佐賀市街地エリアの渋滞対策の検討を推進
- これまでの渋滞協・WGで議論した交通課題を踏まえて、道路整備を始めとするハード対策や、現状の機能を有効活用するためのソフト対策、ピンポイント渋滞対策を検討
- 次年度は年度明けに情報共有のためにエリアWGを開催、次回協議会は次年度夏頃に開催予定

・次回の協議会(次年度)及び佐賀市街エリアWGに向けて

①主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングの継続及び解除検討

②主要渋滞箇所の渋滞要因の把握及び新たな対策の検討

③既存対策の推進